

2023年12月27日

報道関係 各位

住友不動産株式会社
住友不動産販売株式会社

～本格的なクラシックやクリスマスの名曲まで～

『第115・116回 クリスマスステップコンサート』開催

【東京】1,500名、【大阪】1,700名 無料ご招待

「介助犬育成・普及のための募金」を日本介助犬協会に寄託

住友不動産グループは、“家族そろって楽しめるコンサート”をテーマに、12月8日(金)に『第115回クリスマスステップコンサート(東京公演)』、12月15日(金)に『第116回クリスマスステップコンサート(大阪公演)』を開催いたしましたのでお知らせいたします。

本公演は、“芸術・文化に触れ合う機会の創出”を目的に、本格的なクラシックコンサートを誰もが一緒に楽しむことができるよう、全席無料でご招待するクラシックコンサートです。当社グループは、社会貢献活動の一環として、今後も様々な文化・芸術活動の支援・発信を通じて、より一層、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



『第115回クリスマスステップコンサート(東京公演)』
千住 真理子氏と新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏



『第116回クリスマスステップコンサート(大阪公演)』
千住 真理子氏、森 麻季氏の共演

■ 本格的なクラシック音楽からクリスマスの名曲をお届け

今回のクリスマスステップコンサートでは、パーソナリティ&ヴァイオリンに千住真理子氏を迎えて、ソプラノの森麻季氏による本格的なクラシック音楽やクリスマスの楽曲など充実のプログラムを披露いたしました。

《ステップコンサートとは》

「ステップコンサート」は、住友不動産グループの社会貢献活動の一環として、1987年の第1回開催以来、30年超の歴史を誇るコンサートです。“家族そろって楽しめるコンサート”をテーマに、毎回国内外で活躍の指揮者や演奏家、オーケストラを迎え、これまでに多くのお客様を無料でご招待。

児童福祉向上のために特に優れたコンサートであるとの評価から、1996年より「厚生労働省 社会保障審議会特別推薦 児童福祉文化財」に指定されています。

『第115回クリスマスステップコンサート(東京公演)』 開催概要

開催日時	2023年12月8日(金) 開演 18:50
会場	東京オペラシティコンサートホール(東京都新宿区) 〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2
出演者	千住 真理子(パーソナリティ&ヴァイオリン)、円光寺 雅彦(指揮)、森 麻季(ソプラノ)、 新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)
招待者数	1,500名(全席無料ご招待)
プログラム	ビゼー/「アルルの女」第1組曲から“カリヨン” アンダーソン/そりすべり グノー/歌劇「ファウスト」から“宝石の歌” ドヴォルザーク/歌劇「ルサルカ」から“月に寄せる歌” チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲 第1 楽章 《指揮者体験コーナー》 オッフェンバック/歌劇「天国と地獄」から序曲 久石譲/STAND ALONE アメイジング・グレイス トーマ&ウェルズ/ザ・クリスマスソング ラヴェル/ボレロ他



『第115回クリスマスステップコンサート(東京公演)』東京オペラシティコンサートホール(東京都新宿区)にて



ソプラノの森 麻季氏による歌唱



千住 真理子氏のソロ演奏



千住 真理子氏と森 麻季氏によるデュオ

『第116回クリスマスステップコンサート(大阪公演)』 開催概要

開催日時	2023年12月15日(金) 開演 18:50
会場	ザ・シンフォニーホール 〒531-8501 大阪市北区大淀南2-3-3
出演者	千住 真理子(パーソナリティ&ヴァイオリン)、円光寺 雅彦(指揮)、森 麻季(ソプラノ)、大阪フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)
招待者数	1,700名(全席無料ご招待)
プログラム	ビゼー／「アルルの女」第1組曲から“カリヨン” アンダーソン／そりすべり グノー／歌劇「ファウスト」から“宝石の歌” ドヴォルザーク／歌劇「ルサルカ」から“月に寄せる歌” チャイコフスキー／ヴァイオリン協奏曲 第1楽章 《指揮者体験コーナー》 オッフェンバック／歌劇「天国と地獄」から序曲 久石譲／STAND ALONE アメイジング・グレイス トーマ&ウェルズ／ザ・クリスマスソング ラヴェル／ボレロ他



『第116回クリスマスステップコンサート(大阪公演)』ザ・シンフォニーホール(大阪市北区)にて



ソプラノの森 麻季氏による歌唱



千住 真理子氏のソロ演奏



円光寺 雅彦氏による指揮

■ お子様のクラシック音楽との出会いを演出する「指揮者体験コーナー」

本コンサートでは、お子様がクラシック音楽を聴くだけでなく楽しみ触れる機会として、来場されたお客様の中から実際に舞台にあがっていただき、本格的なオーケストラの指揮を体験する「指揮者体験コーナー」を設け、大変ご好評をいただいております。

こうした取り組みにより、児童福祉向上のために特に優れたコンサートであるとの評価を受け、1996年より「厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財」に指定されております。

※指揮者体験は大人の方も対象としています。



来場者による「指揮者体験コーナー」

■ 「介助犬育成・普及のための募金」を日本介助犬協会に寄託

本コンサートでは、1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災から義援金活動をはじめ、2004年以降、社会福祉活動のため「介助犬育成・普及」に少しでもお役に立ちたいと会場で募金活動を行っております。

今回も、東京・大阪それぞれの会場にて「介助犬育成・普及のための募金」の受付を行い、ご来場者様より、合計で**469,654円**の募金が寄せられました。お預りした募金は「社会福祉法人 日本介助犬協会」に寄託し、介助犬育成・普及のために活用されます。ご来場のお客様の温かいご協力に感謝致しますとともにご報告申し上げます。

また、これまでに「震災復興支援の義援金」や「介助犬育成・普及のための募金」など、1995年の募金開始から累計で1,845万円を寄付しております。



ステージにて介助犬のデモンストレーション



会場内にてPR犬と触れ合いの機会を提供

※本リリースに関する取り組みは、以下のSDGs目標に貢献しています。



目標3 すべての人に健康と福祉を
目標4 質の高い教育をみんなに
目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

当社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

＜弊社のESG、SDGsに関する取り組み＞

<https://www.sumitomo-rd.co.jp/sustainability/sdgs.html>

＜本件に関する報道関係者お問い合わせ先＞

住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042

＜東京公演・大阪公演 共通＞



©Kiyotaka Saito(SCOPE)

◆ 千住 真理子(パーソナリティ&ヴァイオリン) / *Mariko Senju*

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」(完全版)を再リリース。春には「ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.2」をリリースした。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。2021年「蛍の光〜ピースフル・メロディ」を、2022年9月には「ポエジー」をリリース。2023年公開、山田洋次監督作品「こんにちは、母さん」の音楽を兄の千住明が担当し、テーマ曲を演奏して話題になる。コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)、母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)など多数。ウェブサイト <https://marikosenju.com/>



©K.Miura

◆ 円光寺 雅彦(指揮) / *Masahiko Enkoji*

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。1980年ウィーン国立音楽大学に留学しオトマール・スウィトナー氏に師事。これまでに東京フィル指揮、仙台フィル常任指揮者、札幌交響楽団正指揮者、名古屋フィル正指揮者などを務め、数多くの公演を共にしながらオーケストラの飛躍的な発展に貢献してきた。N響、読響、新日本フィル、東京フィル、東響、大阪フィル、九響をはじめとするほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、フランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と的確な指揮で多くの聴衆を魅了。テレビ等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。



©Yuji Hori

◆ 森 麻季(ソプラノ) / *Maki Mori*

東京藝術大学、同大学院独唱専攻、文化庁オペラ研修所修了。プラシド・ドミンゴ世界オペラコンクール等多数の国内外コンクールに入賞。ワシントン・ナショナル・オペラでドミンゴ、アラニーヤ、オブラスツォワ等と共演。ルイージ指揮ドレスデン国立歌劇場、ノセダ指揮トリノ王立歌劇場でフリットリやアルヴァレスと共演し国際的評価を得る。2015年佐渡裕プロデュースオペラ「椿姫」、2022年Bunkamuraシアター・オペラ・コンチェルト「椿姫」のヴィオレッタを熱演し喝采をあびる。鈴木優人プロデュースオペラでは、2017年「ポップアの戴冠」のタイトルロール、2020年「リナルド」のアルミレーナ、2023年「ジュリオ・チャーザレ」のクレオパトラを演じ、各紙で絶賛を博す。今夏BBCプロムスにデビュー。日本を代表するオペラ歌手として人気と実力を併せ持つ。国立音楽大学客員教授。安宅賞、ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞等受賞。



◆ 好本 恵(司会) / *Megumi Yoshimoto*

元NHKアナウンサー、十文字学園女子大学教授、NHK文化センター講師。「きょうの料理」「すくすく赤ちゃん」「NHK俳壇」などを長く担当。現在はNHK番組「TVシンポジウム」などのコーディネーターの他、コンサート、式典の司会を務めることも多い。著書に「話しことばの花束」(リヨン社)「声の文化を楽しむ～朗読のすすめ」(日外アソシエーツ)などがある。

<東京公演>



©K.Miura

◆新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽) / *New Japan Philharmonic*

1972年、指揮者・小澤征爾、山本直純のもと自主運営のオーケストラとして創立。1997年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラの音楽監督に久石譲(2004年～)、久石は新日本フィルMusic Partner(2020年～)も務める。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト:www.njp.or.jp

公式X(旧Twitter): @newjapanphil

公式Facebook: /newjapanphil

公式Instagram: /newjapanphil

<大阪公演>



© 飯島隆

◆大阪フィルハーモニー交響楽団(管弦楽) / *Osaka Philharmonic Orchestra*

1947年、朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で発足、1960年に改称。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。大植英次音楽監督時代には、「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014～2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ／交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音が相次いでリリースされる等、高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2022年、創立75周年を迎えた。